

別記第1

**申請書作成時の留意点**

- 申請書は様々な分野の有識者により審査されます。用語など分かりやすく表記してください。
- ヒトを対象とする場合、研究参加者の受ける侵襲、研究から得られる社会的効果のバランスを明確にし、社会効果が上回ることを説明してください。

## 共同研究課題申請書

平成 年 月 日

和歌山県立医科大学 みらい医療推進センター長 様

### 申請者（研究代表者）

（ふりがな）  
氏 名  
所属機関・部局

職 名  
連絡先

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

(TEL) \_\_\_\_\_ 内線

(FAX) \_\_\_\_\_

(E-mail) \_\_\_\_\_

1) 研究組織		
研究者名	所属機関・部局・職名	役割分担（研究実施計画に対する分担事項を明記）
※申請者と共同で研究を推進する研究者、大学院生等		<p>* 研究者および共同研究者の分担を記載してください。</p> <p>* 研究代表者(申請者)名は拠点のHP上で公開されます。</p> <p>* 組織構成員が、特定の研究者のみではなく研究計画に対応する組織構成にしてください。</p>
拠点共同研究者名	職 名	役割分担（研究実施計画に対する分担事項を明記）
		<p>* みらい医療推進センター所属の共同研究者を記入してください。</p>

## 2) 研究課題名

\* 研究の独創性および知的財産権の保護が必要な場合は、不利益にならない範囲で課題名を記載してください。

\* 研究代表者(申請者)名とともに研究課題は拠点HP上で公開されます。

## 3) 研究の目的 (予定の研究期間内に、明らかにしようとする点を具体的に 200字以内で)

\* 箇条書きでなく、文章で目的と概要、背景を記載してください。

## 4) 研究の必要性と期待される効果 (その理由も記載すること。)

## 5) これまでの研究の経緯と成果

## 6) 研究計画・方法等

\* 対象、調査項目、解析方法、解析も含めた研究実施期間、対象の安全性に関する計画 (有害事象への対策) など具体的に記載してください。

ー 対象となる被験者の条件(障害内容)や人数などを記載してください。

ー 手法として適切な研究方法(手段)が選択されているのか確認してください。

ー 研究が計画通りに進まない場合の対応も記載してください。

ー 計画された研究内容を遂行するのに十分な期間設定をしてください。

**7) 本研究拠点における使用設備等**

\*使用を希望する機器・設備名称を記載してください。

ー共同利用の可能な設備・機器に関しては、拠点HPを参照してください。

<http://www.kyoten.wakayama-med.reha.com>

\*本研究拠点の機器を使用することで、どのようなデータを得ることができ、それにより研究目的がどのように達成できるのかがわかるように記載してください。

**8) 倫理的配慮について（動物実験の有無、倫理委員会承認の有無）**

\*倫理委員会は申請者の所属機関等の委員会でも構いません。年度末までに研究、解析を終了し、報告書を提出していただく為、時間的余裕を持って承認を得てください。

**9) 研究資金獲得状況、研究業績、出版物等**

\*申請と関連の深いものを全著者名（申請者に下線）・出版年・タイトル・雑誌名等の順に記してください。

上記のとおり申請することを承諾します。

平成 年 月 日

申請者の所属長 職・氏名

(公印)

## 必要経費内訳書（予定）

平成	年度研究経費	合 計			円
①消耗品費	品 名	単 価	数 量	金 額	
		円		円	
	* 消耗品費については事務用品、パソコン等の汎用品は対象外です。また、単品で 10 万円以上のものも対象外となります				
			計	円	
②旅費交通費	事 項				金 額
					円
	* 人数(研究者、被験者)など申請時点での予定でも構いませんので詳記してください。				
			計	円	
③その他	事 項				金 額
					円
	* 例えば： 1) 被験者への謝礼金 2) 施設使用料 3) 機材運搬費				
			計	円	

\* 本事業の研究経費の支援は主に消耗品・旅費など、用途が限られています。

\* 経費使用の際には当拠点事務局への事前連絡が必要で、内容により拠点事業での助成の対象とならない場合があります。

\* 経費は基本的に振込、現物支給であり、現金支給は被験者への謝金も含め、行われておりません。